



Speaker System | 20万円未満

1位 フォーカル Aria 906 ¥162,000 (ペア)

小野寺 ★★  
傳 ★★  
黨 ★

三浦 ★★  
和田 ★★

得点 11



●穏やかな響き、柔らかな音色でありながら、決してボケた音ではない分解能の高さがある。フォーカルの新ラインナップのAriaは、上級ラインナップのUtopiaのカチッと締まったHi-Fi音とは異なり、メーカー自身が表明している。本シリーズは防振した不思議に見えるコーンを造り、ツイーターの材質を選び、穏やかなHi-Fi調のチューニングだ。(傳)

●従来のChorus 800Vに替わる新しいAria 900シリーズ。フォーカルは2ウェイ機の音造りも巧く、アルミ/マグネシウム振動板による高音域は清々しく伸びきっている。新開発の中音～低音の振動板は一年草の仏産フラックス(亜麻)の長い繊維織布を前後からガラスファイバー織布で挟んだ均等厚の3層構造。素直で美しく音楽を奏でる。(三浦)



2位 ソニー SS-AC3 ¥176,000 (ペア)

傳 ★

黨 ★★  
和田 ★★

得点 7



●ツイーター部に採用されたI-ARRAYシステムは、メインツイーターと2個のアシストツイーターの3つのユニットを使用することで、広い指向特性と十分な音圧を確保する画期的なアイデア。その効果たるや絶大で、独特の深々とした音場感の本機ならではのもの。AC5もいいが、スタンドの心配がなく、低域も豊かな本機をお薦めする。(黨)

●ソニーから新登場のエントリーモデルは、先行発売のARやESシリーズの思想、技術、デザインをしっかり継承して、価格以上の出来栄となった。ESシリーズで開発した2個のアシストツイーターを使うI-ARRAYシステムはこのACシリーズでも健在で、高域は指向性が広く爽やかに伸びる。この価格帯では筆者一押しのお薦めモデルだ。(和田)

2位 ソニー SS-AC5 ¥96,000 (ペア)

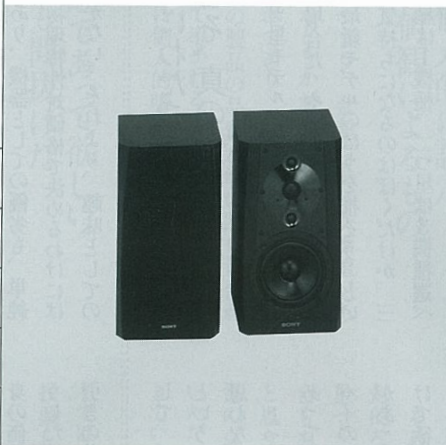
小野寺 ★★

傳 ★★

三浦 ★★

柳沢 ★

得点 7



●ソニーの最高級スピーカー、ARシリーズ直系の末弟。13センチウーファーに独自のアシストツイーターを配した高域を組み合わせ、リスニングエリアの拡大を図る。小型ながら低域不足を感じさせないバランス感覚、音像をしっかりと描ききるわかりやすさがよい。音調には若々しさが感じられ、品位も高く聴き心地のよいシステムだ。(小野寺)

●ペアで26万円の上級機SS-NA5ESが聴かせる音のエッセンスを手頃な価格で実現したベストバイ機。広い指向性を確保するソニー独自のI-ARRAYシステムを継承しながら中心のツイーターとメタル振動板ウーファーはスキヤンスピーク製のカスタム品を搭載するなど贅沢な内容。一般的なソフドームの2ウェイ機よりも歯切れの良い明瞭な音。(三浦)



**BEST BUY COMPONENTS**

- Speaker System
- DD Player
- DD Transport
- D/A Converter
- Digital File Player
- Preamp
- Power Amp
- Integrated Amp
- AD Player
- Phono Cartridge
- Phono Amp
- Other Component Accessory

4位

傅 ★ ★  
三浦 ★  
柳沢 ★ ★  
和田 ★ ★ ★  
得点 8



ソニー  
**SS-NA5ESpe**  
¥300,000 (ペア)

●従来のESシリーズが単に光沢仕上げ(ピアノ塗装)になっただけというなら大騒ぎはしない。つまり、プレミアム・エディションは日本の塗装職人による手作業によって、ARシリーズと同等の美しい仕上げになった。それに加えて各所にファインチューニングが施され、プレミアムを名乗るにふさわしいソノールなサウンドに進化している。(和田)

4位

小野寺 ★ ★ ★  
三浦 ★  
柳沢 ★ ★  
和田 ★  
得点 8



ハーベス  
**HL Compact7 ES3**  
¥330,000 (ペア)

●決して最先端を行くようなハイレゾリューションサウンドではないし、箱鳴りもかなりある。それでも本機が持つ、聴き心地のよい音楽再生能力は、まさに三ツ星に値すると思う。さまざまな音楽の特質を描き分ける能力に抜群のものが、この点においては、はるかに高額なシステムをも凌駕する。これぞ音楽鑑賞用スピーカーである。(小野寺)

4位

小野寺 ★  
傅 ★  
黨 ★ ★  
三浦 ★ ★  
柳沢 ★  
和田 ★  
得点 8



フォーカル  
**Aria 926**  
¥380,000 (ペア)

●FLAX=亜麻、つまりリネン繊維の、弾力性が低く剛性があり、中空構造ゆえに軽量という特性を生かして、これを芯材として開発されたフォーカルの新型サンドイッチ構造の振動板「FLAX」を採用する新シリーズ。密度の高い、凝縮されたサウンドが身上。聴きやすさなら906だが、本機の毅然たる表情の音からは本格派の風情が漂う。(黨)

2位

小野寺 ★ ★  
傅 ★ ★ ★  
黨 ★  
三浦 ★  
柳沢 ★  
和田 ★ ★  
得点 10

エラック **BS312** ¥270,000 (ペア)



●スピーカー前面に手のひらをかざすとほとんど隠れてしまうくらい、高さ約20cm×幅約12cmの超小型。JETVトウイーターの澄んだ音に適合するウーファー、強度を上げたエンクロージャーが結集して、小型・高密度スピーカーの傑作が誕生した。棚に載せるのではなく、専用スタンドにスクッと立てると、軽々と出た音が拡がって爽快である。(傅)  
●エラックを代表する超小型スピーカーの310がついに最新のJETVトウイーターを搭載して登場。トウイーターの高性能に合わせてウーファー部も強化され、ネットワークもより高品位なものが奢られた。その結果出てきた音はいっそう緻密、かつ躍動感に溢れ、「もはや310とは呼べない」、ということで312というモデルナンバーが与えられた。(和田)

3位

小野寺 ★  
傅 ★  
黨 ★  
三浦 ★  
柳沢 ★  
和田 ★  
得点 9

KEF **Q900 Version up** ¥218,000 (ペア)



●英国KEFのQシリーズが今年バージョンアップされた。基本的に独自の同軸ユニット、Uni-Q一発で音楽再生帯域をまかなっているのが特徴。本機はQシリーズの最上位にあたり、ウーファーとバスドラジェーターで低域を増強。円満な音調バランスの本格的なサウンドが聴ける。質量感、解像度も充分だ。能率が高く鳴らしやすい。(小野寺)  
●手頃価格帯が集まるこの価格帯は激戦区の一つ。本機は昨年までギリギリで20万円未満の価格帯にいたが、今年はユニット一新などでバージョンアップ。値段もその分だけ上昇してこの激戦区へと参入した。同社自慢の同軸型ユニットもよりグレードアップされ、緻密で鮮度の高い音を聴かせるし、バスドラジェーター付きの低音も一段と弾力性を増した。(傅)